

世界遺産の魅力を伝えたい



本橋さんがエジプトで撮影した写真



ふれての講座で講演する様子



世界遺産講座

昨年、地域交流ホームふれてで5回にわたり世界遺産について学ぶ講座が開かれた。講師は本橋健治さん。8月には芸術文化ホールで開かれた北広島ユネスコ協会の学習会でも講演した。

元旅行会社社員で、在職中の海外渡航は約200回36カ国にのぼる。世界遺産旅行の企画を手掛けた経験を生かし、写真とともに魅力を解説。多くの方が豊富な経験に裏打ちされた講話に耳を傾けた。

講座を始めた理由

退職し、これからは自由に国内外を旅行したいと計画していた頃、アクシデントに見舞われた。腰や脚などに異常を感じ、病院で診察を受けたところ、脊椎腰部の大部分を痛めていることが判明。入院、手術を経て、リハビリ通いが始まった。世界旅行も諦めざるを得な

世界遺産講座で講師を務める

本橋 健治さん

もとはし・けんじ
白樺町在住。
早稲田大学商学部卒業。元旅行会社社員。在職中は海外旅行業務をはじめ、新千歳空港の国際化などの事業に携わる。旅行会社退職後、キャリアカウンセラーとして能力開発や仕事に関する相談を受け、相談者を適性・適職の発見に導いた。
北広島ユネスコ協会文化事業部推進委員。

くなり落胆も大きかった。

そんな中、施設で知り合ったりハビリ仲間から「体が自由なら、あちこち旅行したいのに、諦めるしかない」と同じ悩みを聞いた。旅行に行けなくても、自分の経験と撮りためた写真を使い、多くの方と世界遺産の素晴らしさを共有できるのではないか。それが講座を始めた理由だ。

ふれての講座で最初に選んだテーマはエジプトのピラミッド。なぜ、どんな工法で造られたかなど、実際に訪れた時の様子を交えながら解説し、受講者と美しい風景写真を楽しんだ。2回目以降はイタリアのベネチアや、ペルーのマチュピチュ遺跡などを紹介。講座は今年も開催する予定だ。「機会があれば、市内の小・中学生の皆さんにも、人類の宝である世界遺産について話ができたらと思います。歴史や地理、建築などさまざまな分野への探究心が高まることでし

よう」

北広島に移り住む

本橋さんは東京都の出身。大学卒業後、旅行会社に就職が決まった。当時、東京は排気ガスなどの大気汚染が深刻で、本橋さんは気管の調子を悪くしていた。空気がきれいな所で働きたいと思い、初任地に北海道を希望し、札幌勤務が決まった。北海道に移ると体調もすつかり良くなった。その後結婚し、子どもにも恵まれた。

北広島に移り住んだのは、千歳空港へのアクセスが便利だったから。空気がきれいで、緑が多いところも気に入っている。自分にできることで地域の役に立ちたいと、市の地域公共交通活性化協議会委員や社会教育委員を務めている。

これからも世界遺産の素晴らしさを伝えたいと語る。穏やかな語り口は、聴く人の心を美しい風景にいざなうことだろう。

